真宗大谷派

旭川別院 報恩講

2019年
11月1日～5日

報恩講講師

＊1日～3日（日中）＊
金倉（かなくら）　泰賢（たいけん）氏
（秩父別町 高德寺住職）

＊3日（逮夜）～5日＊
伊藤（いとう）　篤（あつし）氏
（広尾町 廣縁寺前住職）

報恩講とは

旭川別院輪番　太田　法生

報恩講は、真宗門徒にとりまして、年中行事の最も大切な重い法要であります。「一日のたしなみには、あさつとめにかかさじと、たしなめ。一月のたしなみには、御開山様の御座候うところへまいるべしと、たしなむべし。一年のたしなみには、御本寺へまいるべし」と蓮如上人御一代記聞書に申されております。

毎月一度はお寺にお参りし、年に一度はご本山にお参りなさいといわれます。せめて、年に一度の五日間、旭川別院報恩講にはお誘い合わせご参詣くださいますようご案内申し上げます。

又、この報恩講にお手伝い頂きます関係者の皆様方には、大変お世話になりますが、宜しくお願い申し上げます。

宣心院殿御参修　鍵役

大谷（おおたに）　暢文（のぶふみ）殿
東本願寺鍵役

報恩講お手伝いのお願い

十一月一日～五日

報恩講は、お手伝い頂く皆さまの御尽力がかかせません。しかし、年々お手伝いの数が減少しています。お手伝いの部門は（法要が勤まる本堂・食事作り、盛り付け、配膳・僧侶の接待等）幾つかに分かれており、総勢百人以上で運営されています。ぜひ、お手伝いのご参加お待ちしています。

※詳細につきましては、別院までご連絡下さい。（担当 大野）

お斎準備風景

報恩講日程（予定）

日程／行事	1日 金	2日 土	3日 日	4日 月	5日 火	6日 水
晨朝		7時	7時	7時	7時	7時
日中		幼稚園報恩講 10時半	10時	10時	10時	※本堂参詣者対象
お斎			12時～13時半	12時～13時半	12時～12時半 昼食	←
逮夜	14時	14時	14時	14時		
御伝鈔			17時			

お斎十一月三日、四日（十二時～十三時半）

※本年は混雑が予想されます。両日とも法要、法話に参詣された方から、優先に整理券を配布します。お斎のお持ち帰りはご遠慮下さい。何卒ご理解ご協力お願いします。

旭川別院だより

真宗大谷派旭川別院

旭川別院だより
秋号
2019
発行所　真宗大谷派 旭川別院
輪　番　太田　法生
〒070-0030 旭川市宮下２丁目
TEL.0166-22-2409
FAX.0166-22-2411
■印刷：植平印刷株式会社
■旭川別院ホームページ
http://potato9.hokkai.net/~betsuin/
真宗大谷派旭川別院　検索

法座・行事案内

本院

10月
1日　午後7時　公開学習会　畠山　明光師
7日　午後1時　群萌の会　マヤの会
8日　午後1時　初心の集い　輪番・列座
13日　午後1時　同朋の会公開講演会　列座
16日　午後2時
18日　午前10時　婦人会　※昼食は持参下さい　列座
19日　午後7時　壮年の集い　輪番・列座
随時　午後1時30分　あゆみ会　列座

11月
1日～5日【旭川別院報恩講】
（1日～3日　金倉　泰賢師）
（3日～5日　伊藤　篤師）
秩父別町　高德寺住職
広尾町　廣縁寺前住職
7日　午後1時　群萌の会　マヤの会　列座
8日　午後1時　初心の集い　輪番・列座
13日　午後1時　同朋の会　列座
16日　午後1時　婦人会　列座
18日　午前11時　御正忌の集い　講師未定
中旬予定　報恩講懇親会（反省会）・懇親会後壮年集い
随時　午後1時30分　あゆみ会　列座

12月
1日　午後7時　公開学習会　畠山　明光師
7日　午前11時　群萌の会報恩講　講師未定
8日　午前11時　マヤの会報恩講　講師未定
13日　午後1時　初心の集い　輪番・列座
16日　午後1時　同朋の会報恩講　講師未定
18日　午後1時　婦人会　列座
21日予定　午後7時　壮年の集い報恩講　輪番・列座
31日　午後11時40分　初鐘
随時　午後1時30分　あゆみ会　列座

1月
1日　午前0時　修正会
16日　午後1時　初心の集い　輪番・列座
17日（予定）　午前11時　同朋の会　列座
18日（予定）　午前10時　初顔合わせ会　列座
中旬予定　旭川別院門徒新年会（かるた大会）　列座
随時　午後1時30分　壮年の集い初顔合わせ会　列座
　　あゆみ会　列座

まことのことば　悪性（あくしょう）さらにやめがたし　こころは蛇蝎（じゃかつ）のごとくなり　修善（しゅうぜん）も雑毒（ぞうどく）なるゆゑに　虚仮（こけ）の行（ぎょう）とぞなずけたる（正像末和讃）

念仏との出会い②

広縁寺前住職　伊藤　篤

あるお寺の掲示板の言葉である。

（仏さまの言葉）

「毎日、やりたいことができ、一日が終わって　酒がうまけりゃ、それは『○○』である。」

あなたは「○○」の二文字に何という言葉を入れるでしょうか？私はいろんな場所やいろんな人にこの「○○」の言葉を問いかけます。「毎日やりたいことができる」とは自分の思い通りに生きることができるということであり、自分の思いを妨げる者もないということでありましょう。「一日が終わって酒がうまけりゃ」とは、何の煩いもなく、心配もなく、不安もなく日々の生活ができるということです。多くの人はそんな思い通りになる生活、心配事のない安心生活を夢見て、それを「幸福」と呼ぶのでしょう。したがってこの言葉に問われた多くの人は、「それは『極楽』である」と答えるのです。この言葉に出会った時、実は私も「極楽」「幸福」などと多くの人と同じように答えた一人でありました。それはまさに人間としての欲求を満たすことを第一と考える自己中心的な者の結論でありました。

この仏さまの言葉の正解は私たちの答えとは真逆の「それは『地獄』である。」ということでした。

掲示板の言葉は人間の欲求を満たす言葉ではなく、「仏さまの言葉」でありました。私たちが求めてやまない「幸福な人生」の本質は自分の思い通りに生きることが出来る、つまりは自分さえ良ければ全て良しという生き方でありました。また何の心配も不安も無い生活とはやはり現実に目をつぶった独りよがりの生き方でありました。その生き方をまさに「地獄」であると仏さまは指摘するのでありました。人間の欲求を満足させる道を求めていた私が初めて仏さまの言葉に出会った出来事でありました。仏さまが教える『地獄』とは、我欲を満足させる世界のことであり、私たちが求めてやまない自分だけの極楽のことでありました。極楽行きの汽車に乗っているつもりが、気がつくと地獄行きに乗っていたようなものです。しかしこれがなかなか気がつかないのです。それほど自分を満足させる欲求とともに生きた迷いの歴史は長く、深く、強いのでしょう。しかし私たちの計算心はすぐはたらきます。「努力して頑張って、気がついて極楽行きの汽車に乗り換えたら良いでしょう」と。私たちは何処までも地獄が嫌いで極楽がお好きなようであります。

私はいろんなところ、いろんな多くの方にこの仏さまの言葉を紹介し『○○』の二文字を尋ねました。たった一人の方を除いて『極楽』『幸福』『満足』と答えられました。周りの方々が同じように答える中で黒板に書かれた仏さまの言葉を見つめていた一人の女性がこうつぶやきました。「どんなに思い通りに生きたとしても、やっぱり死ぬなあ。」と。その人は大分県日田市にお住まいであった宮崎テル子さんという高齢の方でした。

私たちはいかに「いのちの事実」を忘れて、自分の思いを満たすことに夢中になって生きているか？ということを指摘されました。私たちは「いのち」が大事というけれど、その「いのち」とは自分にとって都合の良い、若くて、健康で、長生きするいのちを求めているにすぎないのではないでしょうか。

私の思いを超えて「生・老・病・死」する「いのちの事実」との出会いこそが念仏との出会いであり、念仏との出会いの場が報恩講に他なりません。

旭川別院婦人会報恩講

九月十八日　午前十時半
参加者　三十五名

先般　田中婦人会長・太田輪番の挨拶で開式されました。午前の部はビデオ鑑賞・親鸞踊、お斎（昼食）の後、午後からは、皆さんでお勤め、輪番のご法話と熱心に聴講されました。

旭川別院太田輪番歓迎会

九月二十日　午後六時
参加者　五十八名

先般　新輪番をお迎へしアートホテル旭川で開催されました。出席の皆さまから、輪番に新たな期待が寄せられ、楽しい夕べを過ごしました。

御正忌（ごしょうき）の集いのご案内

御正忌（ごしょうき）とは親鸞聖人の祥月命日（しょうつきめいにち）（亡くなられたその日の事を指します。親鸞聖人は十一月二十八日に亡くなったと伝えられています。）に勤まるお参りの事です。

聖人の御命日をご縁として、そのお開きになられた教えを頂く大切な日です。皆様お誘い合わせの上、お参りください。

日　時　十二月二十八日（土）
十三時～十五時　法話予定

講　師　未定

脇坂家結婚式

去る九月二十五日旭川別院本堂にて橋本家・脇坂家の仏前結婚式が執り行われました。

司婚のもと、新郎 橋本 洋希さん・新婦 真耶さんの門出を祝いました。

御本尊の前で共に出遇った不思議さを確認し、共に歩む誓いを立てる仏前結婚式をお寺で挙げてみませんか？

興味のある方は、別院までご連絡下さい。

刑務所作業製品ミニ矯正展
―旭川刑務所―

日時
十一月三日（日）　午前九時～午後二時
十一月四日（月）　午前九時～午後二時
十一月五日（火）　午前九時～午後十三時

場所
旭川別院大谷ホール二階

※その他各種製品が多数あります。

北海道開拓綿絵 パネル展

11月3日（日）～5日（火）
大谷ホール2F

一八七〇年（明三）年、真宗大谷派教団は、若き法嗣大谷光瑩師（現如上人）を先導とし、北海道開拓、開教に乗り出した。この事業は新政府の国策にも沿い、本山の存続にも利するものであった。

綿絵は今でも開拓の歴史を賛美する資料として安易に利用されている。これを機会に「見えていなかった、見ようとしなかった歴史」を凝視し、アイヌ民族の人々と「共生の道」を歩む反省のスタートとしたい。この特集が読者諸氏の差別を考える資料の一つとなることを願ってやまない。（資料一部抜粋）

本府御酒被下之図

この絵は、アイヌ民族に酒と六字名号を与えて教えに導こうとしているものである。詞書（※）での蔑視と共に、東本願寺がアイヌ民族をどのように見ていたのかが象徴的に顕れている。アイヌ民族に六字名号を授けることがどう理解されたであろうか。またこのことが「教化」となったのだろうか？

※「物の哀もしらぬ蝦夷人」などの表現が記されている。

山越内

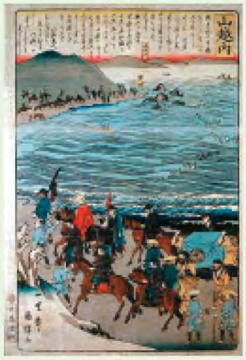
寒く、雪も多く、生活の苦しい所に住む人々が、現如上人の随行を喜んでしたのだろうか。それは、独自の宗教観を持っているアイヌ民族が描かれていることにこの疑問がある。また松浦武四郎の詞に「むくつけき姿であるにもかかわらず」とあり当時の一行がアイヌ民族を劣った者であると考えていることも疑い知れる。しかも「上人が行くところは大漁であった」などと真宗の教えに無関係な表現となっている。

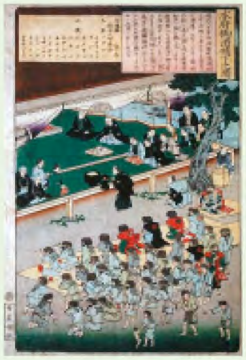
北海道新道切開

新道切開の様子を表した一枚。僧侶、役人、人夫、アイヌ民族が協力しているように見える。ただ、「歌楽」の詞書では「新道御切開乃御手伝～」とあるが、実際には人夫として現地のアイヌ民族が雇われたと考えられる。ただし、賃金などの対価の詳細は不明である。

※綿絵右上の標本には「東本願寺切開新道」とある。

北海道新道切開


山越内


本府御酒被下之図

仏法 あれ これ

諸行無常

「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり…」

これは有名な平家物語の一節で、栄華を誇った平家の滅びる姿を表しています。

この「諸行無常」とは仏教の旗印（目標として掲げるもの）とされている、三法印（諸行無常、諸法無我、涅槃寂静）の中の一つから引用されている言葉です。同じことが続くということは何ないという事を言います。

私たちの生活の中においても同じではないでしょうか。どれだけ大金を手にしたところで使えばなくなります。健康に気をつかっていたとしても、病気になりいずれ命終える時もきます。こんなことは当たり前だと道理ではわかる事なのですが、いざ自分自身の事となるとどうでしょう。

「こんなつもりではなかった、何故自分だけが」と足掻き、苦しむのではないでしょうか。中々わが身を引き受けることは容易ではありません。

しかし、この道理にうなずけない自分自身を知ることこそが信心です。この旗印を大切にしていきたいものです。

（矢田浩之）

別院子ども会

夏のお泊り会を7月29日と30日で開催いたしました。お寺でお泊り会をするイメージはないかもしれませんが、年3回お泊り会を開いており、いつも大賑わいです。今回は1、2年生を対象とし、旭山動物園にお邪魔させていただきました。普段見ることのできない動物を目の前にして子ども達は大喜び！ 私達スタッフもしっかり子ども達を見守りながら楽しませていただきました。

旭川別院では、年6回の子ども会を主催しております。お泊り会は、冬、春にも開催していますので、ぜひお誘いあわせのうえ、ご参加おまちしております！

同朋の会・公開講演 ご案内

旭川別院同朋の会では毎年十月頃に講師の先生をお招きし公開講演会を開いています。

今年度は講師として澤田秀丸師にお越しいただきます。同朋の会として開催していますが人数や会の限定などはありません。皆様ぜひお誘い合わせのうえご参加ください。

日時　十月十六日（木）
十四時～十六時
十七日（金）晨朝後
「朝のおはなし」

場所　旭川別院　本堂

会費　会費無料
五〇〇円（十七日のみ）

皆様のお越しをお待ちしております。

初鐘並びに、修正会、お蕎麦振る舞いのご案内

先の日程で初鐘（除夜の鐘）、修正会、お蕎麦振る舞いがございます。皆さんどうぞご参加下さい。

日程

●お蕎麦振る舞い（無料）
令和元年十二月三十一日
午後十時半頃から

●初　鐘
令和元年十二月三十一日
午後十一時四十分より開始

●修正会
令和二年一月一日
午前零時より開始

■場　所
・お蕎麦　旭川別院広間
・初　鐘　旭川別院　鐘楼堂前
・修正会　旭川別院　本堂

幼稚園型認定こども園 旭川別院附属 大谷さくら幼稚園

＊旭川別院附属大谷さくら幼稚園便り＊

幼稚園では、1か月の夏休みが終了し、2学期が始まりました。2学期も元気いっぱいに遊びます！幼稚園の子どもたちは、毎日大谷の杜や、お寺の境内で、豊かな森の環境の中、自然物に触れて伸び伸びと遊んでいます。今年度はもっと色々な体験をしてもらいたいと思い、『こどもりクラス』という自然体験教室の、佐野愉架先生に来ていただくことになりました。子ども達の体験の様子をお伝えいたします。

年長きりん組『ぽっくりを作ろう！』八月二十二日

桜、白樺の2種類の木をのこぎりを使って切ります。お友達にしっかりと木を押えてもらい、真剣な表情で手を動かしていました。白樺の方が木が硬く、少し時間がかかりましが、最後まで切れると、「やったー！」と満足そうな顔でした。切り株に穴を開け、紐を通すと、完成！出来上がった素敵な木のぽっくりは、毎日大谷の杜で遊んでいます。

年中ぱんだ組『森の動物になってみよう！』八月二十三日

熊、鹿に変身し、足跡の上を歩いてみました。だんだん熊の気持ちになり、「うおーっ」と吠える子もいました。一度、エゾリスが遊びに来たことがある、という話から、大谷の杜にエゾリスが遊びに来てくれるようにクルミを隠しました。クルミの殻が割れていたら、リスが来た証拠です。「見つけたら、お友達にも教えてあげよう！」とワクワクしています！

年少こあら組『生き物探し』八月二十六日

まずは、裏庭の木に隠れている虫探し。虫眼鏡を片手に、名探偵の気分です。アリを発見しました。次に、自分がアリになったら、どんな風に見えるかな？と『ありさん眼鏡』をかけ、姿勢を低くして、小さな穴から杜を覗いてみました。「ありさんって、食べ物探すの難しいな～。」とアリになった感想を話してくれました。

アリさんの気持ちになった後は、『宝さがしゲーム』です！佐野先生と一緒に、きのこや変わった色の葉っぱを探しました、宝物を見つけると「先生、みてみて～！」と嬉しそうに見せてくれる子ども達でした。これからも、秋の落ち葉でキーホルダーを作ったり、冬は雪山で遊んだりと、自然の中で思い切り遊んで、身体で季節の移り変わりを感じていきたいと思っております。

アリさんに変身！

先生！宝物みつけたよ！

リスさん、くるみを食べに来てね♡

熊に変身。のっし、のっしと歩きます。

押して、引いて、最後までがんばります！

この木と同じかな？

台風15号により被災された皆様に心より お見舞い申し上げます。

募金のご協力は、下記の援助金口座をご利用ください。また、当院本院の受付窓口に募金箱を設置しております。

【援助金口座】

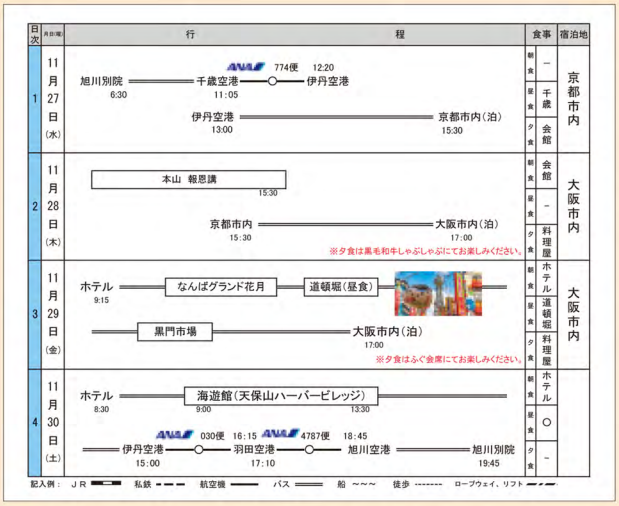
- 郵便振替口座番号　01010-0-2608
- 加入者名　真宗大谷派宗務所財務部

※通信欄に「台風15号被害」とご明記ください。

東本願寺報恩講奉仕団、研修旅行御案内

この度東本願寺報恩講にあわせまして、奉仕団を集う形となりました。以下の日程で報恩講参詣、研修旅行を計画しております。参加ご希望の方は旭川別院まで電話にてご連絡頂ければと思います。皆様のご参加お待ちしております。

（担当　小宮山、福芳）℡二二―二四〇九



日次	月日(曜)	行程	食事	宿泊地
1	11月27日(水)	ANA 774便 12:20　旭川別院 6:30 ― 千歳空港 11:05 ― 伊丹空港 伊丹空港 13:00 ― 京都市内(泊) 15:30	朝食 － / 昼食 千歳 / 夕食 会館	京都市内
2	11月28日(木)	本山 報恩講 15:30 京都市内 15:30 ― 大阪市内(泊) 17:00 ※夕食は黒毛和牛しゃぶしゃぶにてお楽しみください。	朝食 会館 / 昼食 － / 夕食 料理屋	大阪市内
3	11月29日(金)	ホテル 9:15 ― なんばグランド花月 ― 道頓堀(昼食) 黒門市場 ― 大阪市内(泊) 17:00 ※夕食はふぐ食膳にてお楽しみください。	朝食 ホテル / 昼食 道頓堀 / 夕食 料理屋	大阪市内
4	11月30日(土)	ホテル 8:30 ― 海遊館(天保山ハーバービレッジ) 9:00 13:30 ANA 030便 16:15 ― 羽田空港 17:10 ― ANA 4787便 18:45 ― 旭川空港 19:45 伊丹空港 15:00 ― 旭川空港 ― 旭川別院	朝食 ホテル / 昼食 ○ / 夕食 －	

記入例：　JR　私鉄　航空機　バス　船　徒歩　ロープウェイ、リフト

うどんげ

八月末に引っ越しをしました。別院に入ってから七年間の独身寮での生活を思い出しながら、荷物の整理をさせていただいていました。七年居ますと、知らず知らずのうちに荷物が多くなっていることに気がつきました。

随分と職員の変遷もあり、物事が知らず知らずの内にゆっくりと動いていることを感じます。僕ももう三十四歳か、とすこし思う所がありました。この七年は僕にとって非常に濃い七年間でした。

習字教室では、初めの頃から随分と自分の字も変わってきて、一区切りがつく段位にまでなったということも、お勤めの講習会も、本山での五年の研修を終えて、一応の区切りがついて、最初は何が何やら分からない事も、段々と慣れてきて何時の間にか身についているということがありました。周りの環境に押し出されて今の僕があるように思います。

しかし、まだまだ研鑽が必要だとも痛感しております。これからも精進していきたいと思っております。

そして今後の目標も、今までお育てを頂いたことをもっと徹底させていきたいと思っております。新生活がスタートしました。気を引き締めていきたいものです。

安居

お知らせ　平素は、事務取り扱いは午前９時～午後４時30分迄・納骨堂のお参りは午前9時～午後８時迄　※場合により変更あり